

(自家菜園として野菜を作る時に参考にいただければ幸いです。)

栽培のポイント

良い品種、健全な種芋を導入しましょう。

夏季に土壌が乾燥したら畦間灌漑などを行いましょう。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
上旬	中旬	中旬	上旬			下旬	下旬
・							
植付け		土寄せ・追肥				収穫期	

- 1 品種 大土垂 (蓮葉で子芋は1個40~70gで揃う。多収穫品種)
 土垂 (子芋の肥大が良好な多収品種)
 弥市 (蓮葉の代表的品種 土壌の乾燥が著しいと芋の表面に割れ目が入り易い)
 大吉 (赤芽の良質品種。高温を好み、種芋は低温で腐敗しやすい。親芋・子芋ともに食用に出来る。)
 神農総研一号 (肉質は中~粘質で緻密 乾燥にやや弱い)
 種芋は品種が明らかなものを購入するか、農家で栽培されている多収性の品種、味や形の良い品種を選んで導入する。(上記の品種以外に早堀用の石川早生や親芋系の八つ頭等がある。)
- 2 種芋の準備 1個40~50gの芽が確認できる芋をアール当たり270個(約12kg)準備する。(種芋の消毒はベンレートT水和剤20~20倍1分間浸漬)芽が確認できる芋を使用する。
- 3 施肥量 例(100平方m当たり)元肥は植え付け前7~10日前に施用する。
 元肥 牛ふん堆肥200kg CDU燐加安555 6kg BM苦土重焼燐 6kg
 顆粒タイニー10kg(成分量 N0.9kg P3kg K0.9kg)
- 4 植え付け 畦幅90~100cm(畦幅50cm、通路幅40~50cm)
 (マルチ栽培は収量が多いので可能なら黒色か透明のポリを被覆する。)
 株間 40~50cm 植え溝の深さは10cmとして深植えや浅植えは避ける。畦の高さは10cm程度が良いが、排水の悪いほ場ではやや高めにする。(マルチ栽培の場合は発芽したらマルチを破って芽を外に出す。遅れると芽が焼けるので注意)
- 5 土寄せ 6月中旬、6月下旬に3~4cm。7月上旬に5~6cmの3回ほど実施する。
 (マルチ栽培の場合は第1回の土寄せまでにマルチを除去する。)
- 6 追肥(100平方m当たり)例 6月中旬・7月上旬・7月中旬に NK化成2号を各4kg 合計12kgを施用する。(成分量N1.9kg K1.9kg)
- 7 病虫害防除 アブラムシが発生したら適宜防除する。
 (参考文献 神奈川県農業総合研究所 葉根菜科試験成績書 神奈川県野菜優良種導入指針)